

本間賢次郎「春のつどい」（市政報告会）は、
新型コロナウイルス感染症対策のため、延期させていただきます。



川崎市議会議員

本間 賢次郎
ケンジロウ

市政レポート No. 28 (号外)

未来へ働き続ける、想いを「ツナ」ぐ。
イメージキャラクター：本マグロ ツナジロウ

事務所 〒210-0834 川崎市川崎区大島 3-14-17

TEL044-742-8072

FAX044-211-1081

おわび

かねてよりご案内申し上げておりました恒例の市政報告会「春のつどい」（3月6日）につきましては、ご承知のとおり新型コロナウイルスが国内において感染拡大を続けており、検討、協議の結果、影響を鑑みまして延期させて頂くこととなりました。延期期日につきましては、同感染症の収束時期を見守り、改めて検討の上、決定させて頂きご案内申し上げます。

多くの方々にご予定頂いておりましたにも関わらず、直前に延期を決定致しましたことに心よりお詫び申し上げます。何卒、この度の事情をご理解頂きたくお願い申し上げます。

皆様におかれましては、くれぐれも感染予防をお心がけ頂き、ご注意頂きますようお願い申し上げます。

新型コロナウイルスへの対策について

連日の報道にあるように、新型コロナウイルスが世界を席卷しています。本市では、1月30日付で内閣に新型コロナウイルス感染症対策本部が設置されたことを踏まえ、同31日に川崎市新型コロナウイルス感染症対策本部を設置し、関係部署でのさまざまな対応をはじめとして、全庁的な対策を推進しています。本市のホームページ、ツイッター、LINE等による情報提供を行っていますので、ぜひ、ご参照ください。また、同ウイルスの感染が疑われる場合は、区役所衛生課へ電話にてご連絡ください。

また、自由民主党川崎市議会議員団は、今月6日、「新型コロナウイルス感染症に対する危機管理の強化に関する緊急要望書」を市長に提出し、今後も市民の健康と安心・安全な生活を守るべく取り組んで参ります。

その猛威から混乱を招く情報もありますが、冷静になり、日頃からの予防を徹底することが大切です。感染予防の基本と言われる、「手洗い」「うがい」「咳エチケット」の徹底をはじめ、消毒用アルコールの活用などを改めて心掛けてください。

地元・川崎区は港湾施設を擁し、本市でも水際対策が求められています。そうした中、隣接都市の横浜港沖でクルーズ船内の乗船者に感染が確認され、川崎港も決して対岸の火事とは言えません。川崎港では、2月5日に行政や企業・団体等の本市の港湾関係機関による連絡会議を開き、情報共有を行いました。川崎港には旅客用ターミナルこそありませんが、海外からの貨物船等の往来があり、多くの人、モノが集散する物流の重要な拠点です。近年は中国寄港航路も増加していることを踏まえ、今後のさまざまな状況を想定し、速やかな対応を取ることができるよう引き続き緊張感を持って動向を注視して参ります。川崎港ではまず、コンテナターミナル施設等での注意喚起、利用者への情報提供を行う他、検疫所等の関係者との連絡体制を確保、ふ頭で働く職員や作業員の感染予防対策に努めるなど、官民一体となって水際対策を徹底致します。

また、先述のとおり、近年は中国寄港航路が増加し、貨物コンテナ取扱量の中国占有率は60%台半ばを推移しています。中国国内の状況や貨物船の乗組員の健康状態等によっては川崎港の貿易に打撃を与え、市内産業に多大な影響を及ぼすこととなります。他にもイベント等の自粛などによる市内経済への影響に備えなくてはなりません。そこで、本市では市内中小企業支援策としての融資や経営に関する「相談窓口」を設置しています。

私は、今後も対策強化と支援内容の充実に向けて取り組んで参ります。

【融資相談受付】

- ①経済労働局産業振興部金融課 ②経済労働局中小企業溝口事業所
- ③川崎市信用保証協会本所企業支援課（川崎・幸・中原）
- ④川崎市信用保証協会北支所企業支援課（高津・宮前・多摩・麻生）

【経営相談受付】

川崎市中小企業サポートセンター 川崎市産業振興会館6階